

ツグミ（ヒタキ科） 全長24センチ

今シーズンはツグミを観察する機会がやたらと多い気がする。農道の草むらから突然飛び出したり、野球場の芝生の上に40～50羽が群れで見られるなど、あちこちで何度も観察出来ました。野球場に降り立ったツグミは何をしているのか、じっくりと観察を続けた。

すると面白い習性が見えてきました。チョンチョンと跳ねながら立ち止まり、地面を見つめ狙いを定めてクチバシを地面に突き刺すと一発でミミズを引き上げた。土の中に潜むミミズをどのような技で見つけるのでしょうか。

あるツグミは一旦頭の片側を地面につけてから、地中のミミズを探し当てたのです。地中の微かな音を聞き分けているのだろうか。目には見えない地中のミミズを探し当てる特別な技を持っているようだ。



冬鳥として渡来するが、翌春の遅い季節まで留まっている個体が多い。

今年は県内あちらこちらで熊の被害が報道されている。特にクリや柿の木などに現れ、人的被害も深刻になっています。

民家の敷地に植えられている柿の木はツグミにとってもご馳走です。まだほとんど渋柿だが、早めに熟した実を見つけ食べていた。



野球場の芝生で餌探しに夢中だった。



全部で50羽ほどが降り立った。

この後、1月になってもたわわに実を付ける柿の木。この時季は多くの野鳥にとって貴重な食糧となっているのです。

熊が現れるのは困ったことだが、野鳥が美味しく食べているのを眺めると心とむものです。



地面を見つめて。。。。。



クチバシを地中に突き刺し、ミミズを引っ張り上げた。